

令和6年能登半島地震における、 DMORTとしての出務

一般社団法人日本DMORT 理事
日本DMORT 愛知県支部 支部長
愛知学院大学災害歯科医療支援室 副室長
愛知学院大学歯学部口腔病理学・歯科法医学講座 准教授
久保勝俊



一般社団法人 日本DMORT

日本DMORT (Disaster Mortuary Operational Response Team) は、「災害死亡者家族支援チーム」と訳され、災害・事件・事故で亡くなられた方、行方不明になられた方の家族に寄り添い、医療的情報の提供、家族の体調管理を行いながら、心理的な支援をするための訓練を受けた専門チームである。

自己紹介

久保勝俊（くぼかつとし）

昭和45年12月22日 三重県鳥羽市に生まれる（満54歳）
平成12年 3月31日 愛知学院大学大学院修了 博士（歯学）
平成23年 1月 1日 歯学部口腔病理学講座准教授
平成28年11月 1日 愛知医科大学研究員（指導教授 妹尾洋教授）
平成31年 4月 1日 愛知医科大学医学部法医学講座 非常勤講師
令和 3年 4月 1日 歯学部口腔病理学・歯科法医学講座准教授（講座名変更）
専門：口腔病理学、歯科法医学、災害歯科医療学
保有資格等：

歯科医籍
日本病理学会口腔病理専門医・研修指導医
日本臨床細胞学会細胞診専門歯科医
口腔インプラント基礎系指導医
死体解剖資格（厚生労働省認定）
日本法歯科医学会評議員
災害歯科医療コーディネーター
防災士
愛知学院大学災害歯科医療支援室 副室長
日本DMORT 理事&愛知県支部長 他



一般社団法人日本DMORT

（2017年7月14日法人設立）

理事長 村上典子（神戸赤十字病院）
副理事長 久保山一敏（医療法人愛朋会）
理事 北川喜己（名古屋掖済会病院）
黒川雅代子（龍谷大学短期大学部）京都府支部長
河野智子（京都第一赤十字病院）
山崎達枝（千場科学大学看護学部）
主田英之（徳島大学大学院）
久保勝俊（愛知学院大学歯学部）愛知県支部長
野口理恵子（里見腎泌尿器科クリニック）
相談役 吉永和正（医療法人協和会）
長崎 靖（兵庫県監察医務室）
監事 長崎 靖
正会員 30名（登録会員 180名）
2025年4月1日現在

愛知県支部

(2018年2月2日設立)

<愛知県支部>

支部長： 久保勝俊
副支部長： 伊藤美和
事務局： 稲波泰介
新田 満
櫻川真由子
相談役： 北川喜己



2025年4月1日現在

日本DMORTの支部と
しては第1号

中部地方での迅速な活動が可能になった

5

なぜDMORTが
必要となったのか？

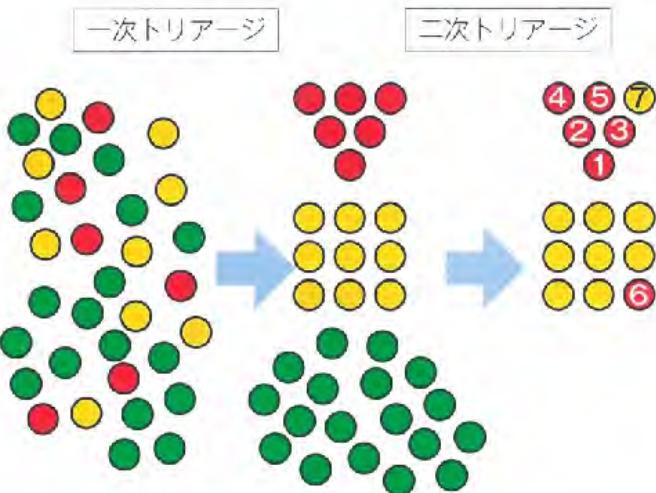
6

JR福知山線列車事故 —災害医療から見たその特徴—

- ・一般市民による救助活動
 - 軽傷者の早期搬出
- ・ドクターカーの自発的な出動（初期DMAT）
- ・現場での多数傷病者トリアージ
 - 標準トリアージタグの系統的使用
- ・ヘリコプター搬送
- ・Confined Space Medicine（瓦礫の下の医療）

阪神淡路大震災から10年目

7



図III-6-2 トリアージの基本的イメージ

トリアージのカテゴリー

識別色	区分	状態の目安
赤	I	迅速な救命処置、緊急手術が必要
黄	II	入院が必要、6~12時間以内の手術
緑	III	軽微な処置、歩行可能
黒	0	救命困難、死亡

9

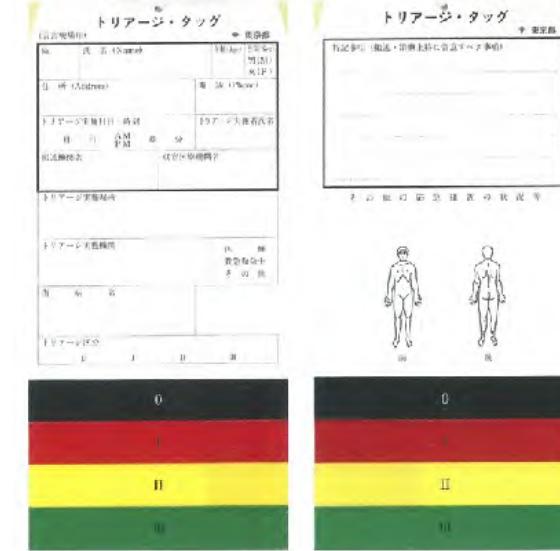
災害トリアージの概念

- 傷病者の緊急救度により治療優先度を決める
- 治療不要者、軽傷者、救命見込みのない傷病者には**優先権**を与えない

黒タグ

切り捨て医療ではない

11



写真Ⅲ-6-1 トリアージタグ

左：表面、右：裏面

改訂第2版DMAT標準テキスト（へるす出版）より転載

JR福知山線列車事故 トリアージの特徴

黒タグの系統的使用

CPA搬送がほとんどなかった

CPA：心肺機能停止

効率的救急搬送、医療機関の混乱回避

日本集団災害医学会 尼崎JR脱線事故特別調査委員会
「JR福知山線脱線事故に対する医療救護活動について」(2006年2月)より

12

第11回 日本集団災害医学会 2006年2月10日～11日 仙台市

「日本の災害 (1) JR福知山線脱線事故」

座長 石井 昇 (神戸大学)

吉永和正：JR列車事故のトリアージタグは
どうなったか?
「黒タグは死者の最後のメッセージ」

村上典子：尼崎列車事故との関わりを通しての、
心療内科医から災害救急医への提言
「黒タグの遺族は納得しているわけではない」

救急関係者に大きな衝撃を与えた

日本DMORTは
どのような活動を
行うべきか?

15

JR福知山線列車事故 2005年4月25日

災害医療に
死亡者・遺族という視点
が抜けていた

2006年10月
日本DMORT研究会
(代表：兵庫医大 吉永和正)
設立

14

遺族からのメッセージ

「亡くなると遺体はものになってしまうのかもしれないが、家族（遺族）の存在を忘れないでほしい。」
「負傷者は回復していくが、遺族はそのまま。むしろ悪くなっていく。」
「初期対応によって、少しでも遺族は救われる。」
「現場に遺族のこころのケアに配慮してくれる人もいてほしい。」

神戸赤十字病院 心療内科 村上典子：第11回日本集団災害医学会 発表(060210)
より

16

災害現場での家族（遺族）対応

日常の救急医療とは異なった
災害医療の特殊性を考慮した
グリーフケアが必要である。

日本DMORTに求められるもの

17

災害現場からの家族（遺族）支援が必要である

18

日本DMORTの役割

現場DMORT

災害現場からの家族（遺族）支援
(救援者の心的支援活動)

長期の遺族支援

専門家・組織のネットワーク作り

啓発・研修活動

黒タグの扱い、メンバー養成研修会

19

被災地に参集する医療救護チーム例

略 称	名 称
DMAT	災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team
DPAT	災害派遣精神医療チーム Disaster Psychiatric Assistance Team
DHEAT	災害時健康危機管理支援チーム Disaster Health Emergency Assistance Team
日赤	日本赤十字社 Japan Red Cross Society
JMAT	日本医師会災害医療チーム Japan Medical Assistance Team
JRAT	大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 Japan Rehabilitation Assistance Team
JDA-DAT	日本栄養士会災害支援チーム The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team
DCAT	災害派遣福祉チーム Disaster Care Assistance Team
AMAT	全日本病院協会災害時医療支援活動班 All Japan Hospital Medical Assistance Team
日本DMORT	日本災害死者家族支援チーム 日本 Disaster Mortuary Operational Response Team
JDAT DDAT	日本災害歯科支援チーム Japan Dental Alliance Team 愛知学院大学災害歯科医療支援チーム Disaster Dental Assistance Team

20

マニュアル

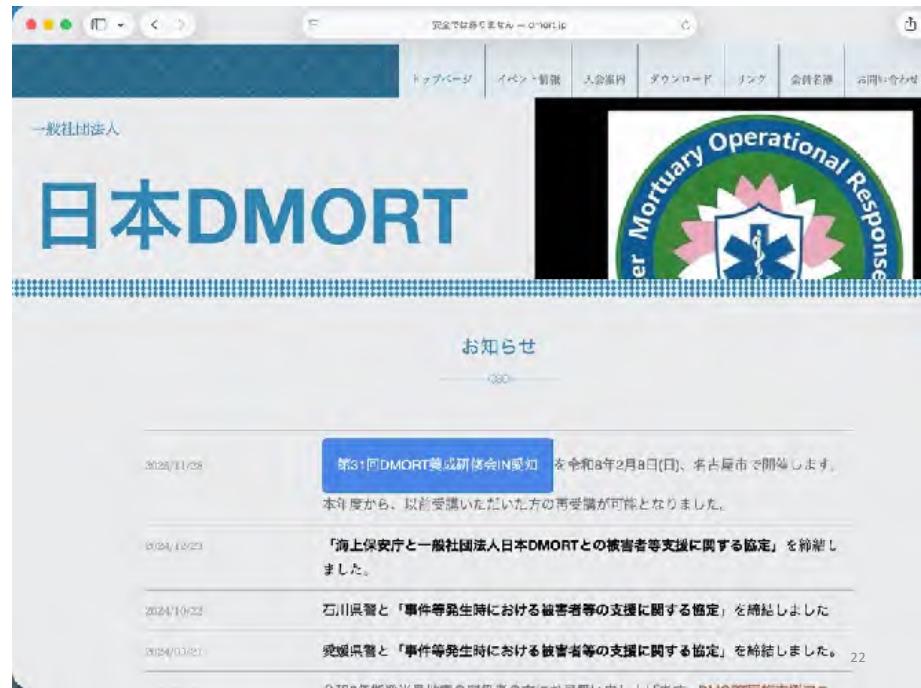
家族（遺族）支援マニュアル

村上典子（神戸赤十字病院 心療内科）
黒川雅代子（龍谷大学短期大学部）
山崎達枝（NPO法人災害看護支援機構）

災害支援者メンタルヘルス・マニュアル

重村 淳（防衛医科大学校 精神科学講座）

<http://dmort.jp/>



The screenshot shows the Japanese DMORT website. The header includes a logo for "Operational Response Mortuary" featuring a caduceus and a pink flower. The main navigation menu has items like "トップページ", "イベント情報", "入会案内", "ダウンロード", "リンク", "会員登録", and "お問い合わせ". Below the header, there is a section for "お知らせ" (News) with several articles listed. The articles are dated from 2024/1/28 to 2024/3/21. The content of the articles is in Japanese.



The screenshot shows a list of PDF files on a computer screen. The files are:

- DMORTメンタルヘルスマニュアル2024.pdf (2024/01/04)
- DMORT家族支援マニュアル2024年能登半島地震編.pdf (2024/01/04)
- DMORTチラシVer.6.pdf (2024/05/29)
- DMORT家族支援マニュアル2022年海難事故編.pdf (2022/01/28)
- DMORT家族支援マニュアル土石流災害編2021.7.7.pdf (2021/07/08)
- DMORT2020.7家族支援マニュアル豪雨水害.pdf (2020/07/07)
- DMORT家族支援マニュアル北海道地震2018.pdf

At the bottom right of the screen, the number "23" is visible.

日本 DMORT 編：家族（遺族）支援マニュアル（2024 年能登半島地震編） ～医療救護班・行政職員・消防や警察などの方へ～

くはじめに

2024 年 1 月 1 日、能登半島を中心に大きな地震（津波）が発生し、多数の方がお亡くなりになつたり行方不明となつておられ、大きな余震など心配な状況が続いております。今回のマニュアルは「行方不明者家族」の方への対応も含め、専門職以外の方でも広く、ご家族（ご遺族）に接する際の参考にしていただけたらと考えました。少しでもお役立ていただければ幸いです。

なおこのままの形であれば広く拡散していただいて大丈夫です。

I. 悲嘆反応と遺族心理

悲嘆反応とは：親しい人や大切なものを喪失した時おこる、さまざまな心理的、身体的、社会的な反応。身体症状としてあらわれる場合や、対人関係や社会生活にも影響を与える。

1. 悲嘆のプロセス（日赤こころのケア指導者養成研修テキストより村上が改変）

- 1) ショック、感觉鈍麻、呆然自失
- 2) 事実の否認
- 3) 怒り
- 4) 起こりえないことを夢想し、願う
- 5) 後悔、自責
- 6) 事実に直面し、落ち込み、悲しむ
- 7) 事実を受け入れる
- 8) 再適応

2. ご遺族によくみられる心理状態とその対応ポイント

- 1) ショック、呆然自失：頭が真っ白になって、茫然とした状態
→名前を呼びかけろ 手や肩を少しだけ体に軽く触れろ 現実感を取り戻すうか声かけ

日本DMORT：家族（遺族）支援マニュアル

- I. 悲嘆反応と遺族真理
 1. 悲嘆のプロセス
 2. ご遺族によくみられる心理状態とその対応ポイント
- II. 災害時のグリーフケアの実際
 1. グリーフケアのポイント
 2. 遺族を傷つける可能性のある言葉
- III. 行方不明者家族への対応
 1. あいまいな喪失によって起こる可能性がある直後の反応
 2. 急性期におけるあいまいな喪失の支援ポイント
 3. 中長期の支援について
- IV. 特に注意を要する場合とは
 1. 複雑化した悲嘆とは
 2. 早急に専門家へつなげた方がいい場合

25

日本DMORT 災害支援者メンタルヘルス・マニュアル

1. はじめに
2. 災害支援者に生じうる心身の反応
3. 支援業務における基本的心構え（過重労働対策）
4. 支援者のストレス対策（セルフケア）
5. 遺体関連業務で注意すべき要素
6. 遺体関連業務への心構え：総論
7. 遺体関連業務への心構え：各論
8. 遺体関連業務への心構え：管理職・幹部の注意点

26

災害支援者に生じうる心身の反応

心の変化	心の変化（強度）	体の変化
<ul style="list-style-type: none">● 気分の高ぶり● イライラ● 憤り● 不安● 無念さ● 無力感● 自分を責める● 疊うつになる	<ul style="list-style-type: none">● 現実感がなくなる● 時間の感覚がなくなる● 繰り返し思い出してしまう● 感情が麻痺する● 仕事が手につかなくなる● 他人と関わりたくないくなる	<ul style="list-style-type: none">● 不眠、悪夢● 動悸● 立ちくらみ● 発汗● 呼吸困難● 消化器症状● 音に過剰に驚く
業務への影響	行動への影響	遺体関連業務有の反応
<ul style="list-style-type: none">● 業務に過度に没頭する● 思考力の低下● 集中力の低下● 作業能率の低下	<ul style="list-style-type: none">● 酒が増える● タバコが増える● 危険を厭みなくなる	<ul style="list-style-type: none">● 気持ち悪さ● 嫌悪感● 遺体・遺留品に感情移入する● におい刺激への反応● 吐気、嘔吐、食欲低下● 遺体を連想させる食物が食べられない

重村 淳（防衛医科大学校 精神科学講座）

DMORT養成研修会プログラム（例）

導入（あいさつ、自己紹介）		40分
DMORTの概要		30分
DMORTが連携する組織について		75分
DMATについて		
消防・救急隊について		
警察の活動について		
遺体検案について		
日赤救護班について		
災害急性期の心理反応と遺族心理の実際（長期遺族支援まで）		45分
昼食		60分
救援者のメンタルヘルス		20分
ロールプレイ導入		15分
ロールプレイ		140分
まとめ・全体討論		15分
（途中で適宜休憩）		40分
懇親会		

28

日本DMORTの活動実績

- 2011年 ニュージーランド地震 支援
- 2011年 東日本大震災 支援
- 2013年 伊豆大島土石流災害 派遣
- 2016年 熊本地震 派遣
- 2020年 熊本県豪雨災害 派遣
- 2021年 熱海土石流災害 派遣
- 2021年 大阪・北新地放火事件 派遣
- 2024年 令和6年能登半島地震 派遣

29

平時から県総合防災訓練、空港災害訓練等への参加、また、定期的にDMORT養成研修会、県警総合災害警備訓練等を開催し人材の養成に励んでいる。

【日本DMORT協定先】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 兵庫県警察 (2018/01/30) | 愛知県警察 (2019/02/21) |
| 福井県警察 (2020/02/28) | 京都府警察 (2021/03/08) |
| 岐阜県警察 (2021/05/27) | 奈良県警察 (2022/01/14) |
| 徳島県警察 (2023/03/06) | 滋賀県警察 (2023/11/27) |
| 愛媛県警察 (2024/03/21) | 石川県警察 (2024/10/22) |
| 海上保安庁 (2024/12/23) | |

30

令和6年能登半島地震

(2024年1月1日 16時10分発災)

令和6年1月に発生した能登半島地震で、愛知県警察本部、石川県警察本部からの派遣要請を請け、1月4日から珠洲市、輪島市で活動した。

今回の派遣は11日間（1月4日～14日）、12名の会員（のべ56名）が活動した。派遣されたチームの構成は、医師1名、歯科医師1名、看護師6名、救急救命士3名、口ジ1名である。

（珠洲市：57家族、輪島市：69家族に対応）

31

令和6年能登半島地震 に係る被害状況等

人的・住家被害等の状況

人的被害

- ・負傷者：1,197人
- ・死者：221人

七尾市 5人、輪島市 88人、珠洲市 99人、羽咋市 1人、志賀町 2人、穴水町 20人、能登町 6人

（令和6年1月15日現在、内閣府より）

32

活動の概要（1）

今回は日本DMORTの先発班として石川県珠洲市にある遺体安置所で活動した。

到着してすぐに、石川県警察本部の担当者と情報共有し、また、遺体安置所での活動拠点の整備などを行った。

現地入りしたのは発災から4日目（1月5日）で、その時点で、すでに45体のご遺体が収容されていた。

その後も次々とご遺体が搬入され、業務引き継ぎの1月7日時点ではその数は優に80体を超えていた。

33

活動の概要（2）

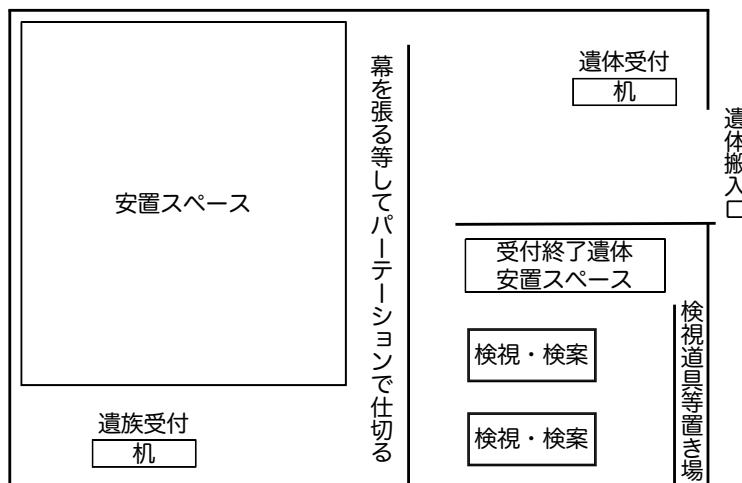
演者が現地で活動した（1月5日から7日までの）期間に、44家族の支援に従事した。

活動内容としては、来所されたご家族への対応、とくに、身元確認の為の対面への同席、出棺前の準備、出棺への同席、ご家族の話し相手、相談への対応、ご遺体の整容など、多種多様な遺族の思いに寄り添って活動した。

また、来所されたご家族の体調急変への対応にも配慮して行動した。

34

遺体安置所のイメージ (小規模スペースを想定)



35

遺体安置所では検視・検案、身元確認資料採取が行われる場所と、遺族への対応が行われる場所とは隔離するように配置されるが、必ずしも全ての遺体安置所で十分なスペースが確保できるとは限らない。

また、遺体安置所ではご家族(遺族)と作業従事者が顔を合わせることも少なくない。

その際に良かれと思いかけた一言で、ご家族（遺族）を傷つけてしまう場合がある。

36

そのようなことが生じないよう、グリーフケアを専門としない身元確認業務従事者も『悲嘆反応』や『遺族心理』に関して一定程度の知識を習得しておくべきと考える。

悲嘆反応とは、親しい人や大切なものを喪失した時おこる、さまざまな心理的、身体的、社会的な反応。身体症状として現れる場合や、対人関係や社会生活にも影響を与える。

37

遺族を傷つける可能性のある言葉
(禁句ではないが注意を要する)

- ・「気持ちはわかりますよ」
 - ・「これからがんばってください」
 - ・「泣いた方がいいですよ」
 - ・「あなたが生きていてよかった」
 - ・「もっとひどいことが起こっていたかもしれない」
 - ・「そんなに悲しんでいると、亡くなった方が心配しますよ」
 - ・「あなたはまだいいほうですよ」
 - ・「時間が解決してくれますよ」
- など

日本DMORT編：家族（遺族）支援マニュアルより

一般社団法人日本DMORTが目指すもの

- (1) 災害現場への医師、歯科医師、看護師、臨床心理士、救急救命士、災害調整員等の派遣事業
- (2) 長期の遺族支援事業
- (3) 専門家の育成、研修事業
- (4) DMORT活動の情報提供及び啓発事業
- (5) その他この法人の目的を達するために必要な事業



災害現場で活動するすべてのスタッフに
DMORTマインドを育む

38

ご清聴ありがとうございました。



日本DMORT <http://dmort.jp/>

40



一般社団法人
日本DMORT

DMORT
(ディモート: Disaster Mortuary Operational Response Team 「災害死亡者家族支援チーム」)は、災害・事件・事故で亡くなられた方、行方不明になられた方の家族支援をおこなうために作られた専門チームです。

DMORTとは

危機的な状況の家族に寄り添い、医療的情報の提供、家族の体調管理を行いながら心理的な支援をするための訓練を受けた専門チームがDMORTです。

※DMORTのLogoは、医療の象徴としてのアスクレ庇オスの杖、日本人の心の桜、慈悲の心の蓮、そして救急医療の青色と医療の緑色で構成しています。

法人設立の経緯

2005年のJR福知山線脱線事故を機に、死傷者多数事案の家族・遺族の支援の必要性が確認され、2006年に研究会が結成されました。

災害訓練、災害現場への出動経験を経て、2017年7月14日に一般社団法人となりました。

<会員情報>

理事	9人
正会員	23人
登録会員	197人
賛助会員	3団体

(2025年4月現在)

会員の主な職種
医師、歯科医師、看護師、心理士、救急救命士 等々

活動内容

<日本DMORTの活動実績>

- 2011年 ニュージーランド地震 支援
- 2011年 東日本大震災 支援
- 2013年 伊豆大島土石流災害 派遣
- 2016年 熊本地震 派遣
- 2020年 熊本県豪雨災害 派遣
- 2021年 熱海土石流災害 派遣
- 2021年 大阪・北新地放火事件 派遣
- 2024年 能登半島地震 派遣

<主な研修>

- DMORT養成研修会

以下の府県と協定を結んでいますが、死傷者多数事案発生の場合、協定がなくても当該府県警察と調整の上、出動しています。

<日本DMORT 協定先>

兵庫県警察	愛知県警察
福井県警察	京都府警察
岐阜県警察	奈良県警察
徳島県警察	滋賀県警察
愛媛県警察	石川県警察
海上保安庁	

法人事務所

代表

村上 典子

住所

兵庫県西宮市西宮浜4-15-1

協和マリナホスピタル内

電話

0798-32-1112(代)

Fax

0798-32-1222

Email

information@dmort.jp



URL <http://dmort.jp>

法人設立 2017年7月14日



(Ver.9)